

高等学校 農業科 学習指導案

学校名 大阪府立農芸高等学校

指導者 指導教諭

対 象 者	資源動物科 2年1・2組「農業機械」専攻生11名			
日 時	平成26年11月25日(火) 第3・4校時			
場 所	旧商業教室			
教 材 〔単元〕	教 材：「農業機械」(科目「課題研究」) 単 元：農業機械と安全作業 本単元では次の内容を扱う。 高等学校学習指導要領(農業) 第2節 課題研究 (4)職業資格の取得 及び、第11節 農業機械 (2) 農業機械の操作 ウ 農業機械と安全作業			教科書名： 農業機械 出版社名： 農文協
単 元 の 目 標	・農業機械の安全作業の基本、並びに農業機械による事故と健康障害について理解する。 ・地域の農業機械による事故の実態などの具体的な事例を通じて、事故や健康障害の発生の原因について理解し、農業機械を利用した作業における安全確保に必要な知識と技能を取得する。			
教 材 の 指 導 計 画	1 農業機械の役割 (1) 農業機械化の意義 (2) 農業機械の利用と現状 2 農業機械の操作 (1) トレーラの操作 (2)刈払機の操作 (3) トラクタの操作 (4) 農業機械と安全作業 3 農業機械の構造と整備 (1) 原動機の原理・構造と整備 (2) トラクタの構造と整備 (3) 燃料と潤滑油の特性			
指 導 計 画	第1次 農業機械による事故の現状・・・・・・・・・・2時間 第2次 安全操作の基礎・・・・・・・・・・2時間 第3次 安全管理・・・・・・・・・・8時間 第1時 危険予知の基礎(本時) 第2時 危険予知の実践 第3時 安全操作の実践 第4時 予防安全と事後安全 第4次 安全操作の応用・・・・・・・・・・6時間			
単 元 の 評 価 規 準	1. 関心・意欲・態度	2. 思考・判断・表現	3. 技能	4. 知識・理解
	①安全操作や安全管理について興味・関心をもち、安全確保をめざす意識をもって、主体的に学習に取り組んでいる。	①危険予知のために状況を的確に判断しようとしている。 ②予知した危険を回避する方法や、未然に事故を防ぎ、安全に操作する方法について思考を深めている。	①農業機械の操作における危険予知及び安全確保の技能を身に付けている。 ②農業機械を正しく安全に操作する技能を身に付けている。	①農業機械の事故の現状及び発生の原因を理解している。 ②農業機械の操作における安全確保の意味とその必要性、及び正しい操作方法を理解している。

本 時 の 展 開 （計画 第3次の第1時）	
本 時 の 目 標	1. 農業機械の事故の発生の原因について理解する。 2. 状況を的確に把握し、危険を予知するための思考力、判断力を身に付ける。 3. 予知した危険を回避して未然に事故を防ぎ、安全に操作を行う方法を理解する。

本時の学習課程		農業機械操作（刈払機、トレーラ、トラクタ）における危険予知	
時 間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準・ 評価方法
導 入 設 定	・ 出欠確認 ・ 本時の内容の説明を聞く。 ・ 本時の目標を確認する。	○ノート返却時に、記録の重要性を再認識させる。 ○安全の重要性を再認識させる。	
展 開 (追 求)	□以下の各場面の写真や動画を大型テレビで視聴して危険予知を行い、対策を考える。 （個人／グループ） (1) 作業時における正しい服装 (2) トレーラによる刈払機の運搬 ・ エンジンの始動 ・ 荷台への積載方法 ・ 敷地内、外での運転 (3) 刈払機の手操作 ・ 運搬 ・ エンジンの始動 ・ 圃場（平面、法面）での作業 ・ キックバック (4) トラクタの手操作	・ ICT を活用し、写真や動画を用いて実習体験をイメージさせる。 →校内で撮影した写真や動画を用いることで、より実感を高める。 ・ 不安全行動の事例を示し、状況を判断させ、危険を予知させる。 ・ 予知した危険を回避する方法を判断させ、正しい操作方法を理解させる。 ・ グループで考える時間を設定し、活発な意見交流が行われるようにするとともに、できるだけ多くの生徒が発言するように授業を進める。 ・ 提示する事例の難易度を少しずつ上げていき、思考力・判断力を深めさせる。	2-① 4-① 【観察・発言】 2-② 【観察・発言】
ま と め (整 理)	□本時のまとめ ・ 本時の目標の達成度を確認する。 ・ 次回以降の実習に向け、安全の重要性を再確認する。	・ 目標達成度を自己評価させ、達成度に応じたサインを表示させる。 ・ 安全の重要性を再確認し、実習につなげる意識をもたせる。 ・ 本時の考察を記録したノートを翌日提出するように伝える。	1、2、4 【観察】 【記述内容】